

# 第四期特定健康診査等実施計画

---

## 河北新報健康保険組合

最終更新日：令和 6 年 03 月 14 日

# 特定健康診査等実施計画（令和6年度～令和11年度）

背景・現状・基本的な考え方【第3期データヘルス計画書 STEP2から自動反映】	
No.1	<p>1.医療費分析と患者数分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療費総額、一人当たり医療費において、今後も前年比10%以上増加する可能性がある。</li> <li>循環器疾患と内分泌疾患は医療費に占める割合が高い。</li> <li>加齢に伴う影響が顕著である。</li> </ul>
No.2	<p>2.特定健診分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診受診率は組合合計で微増だが国の目標90%に届かず、被扶養者の受診率が低いことが要因である。</li> <li>メタボ判定において、有所見者は男性に多い、加齢とともに増加傾向、高血圧の該当者が多い、メタボ予備群が増加傾向である。</li> <li>健康リスク保有者が多い。特に糖尿病と高血圧が増加傾向にある。</li> <li>生活習慣リスクのうち、特に喫煙者と多量飲酒者が多い。</li> </ul>
No.3	<p>3.特定保健指導分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定保健指導実施率が低い。</li> <li>特定保健指導後の検査値の改善は体重や血糖に限られた。</li> </ul>
No.4	<p>4.健康リスク分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>血糖と血圧のリスク保有者が増加傾向である。</li> <li>将来的な重症化の危険性のある血糖・血圧・腎機能のハイリスク対象が一定数いる。</li> <li>生活習慣病は医療費における最大の影響力をもち、最重要課題は糖尿病と高血圧であること、そして加齢に伴い顕著となる傾向がある。また、悪性新生物とメンタル系疾患は若い現役世代から顕在化し、業務の継続などに影響を及ぼす。一方、アレルギー性鼻炎は小児を含む全世代にわたっており、患者数と医療費の大きさが看過できない。</li> </ul>
No.5	<p>5.後発医薬品分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【調剤総額】は45～64歳で多い。</li> <li>【一人当たり調剤費】は被扶養者の40代後半、70代前半で突出して多い。</li> <li>【後発医薬品使用割合】はおおむね全組合集計と同等である。</li> </ul>

**基本的な考え方（任意）**

健診、保健指導ともに、健保組合だけで事業を進めるという考え方ではなく、加入事業所の協力を最大限活用して実施する。また、健保連宮城連合会の補助事業を利用するとともに、共同設置保健師も活用する。

## 特定健診・特定保健指導の事業計画【第3期データヘルス計画書 STEP3から自動反映】

1 事業名	特定健診（被保険者）	対応する健康課題番号	No.2
-------	------------	------------	------

↓

<p><b>事業の概要</b></p> <p>対象 対象事業所：全て、性別：男女、年齢：35～74、対象者分類：被保険者</p> <p>方法 予約代行機関のシステムを利用</p> <p>体制 事業所と連携して受診勧奨を実施</p>		<p><b>事業目標</b></p> <p>疾病予防</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アウトカム指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受診率</td> <td>95%</td> <td>95%</td> <td>95%</td> <td>95%</td> <td>95%</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>アウトプット指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table>							評価指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	アウトカム指標							受診率	95%	95%	95%	95%	95%	95%	アウトプット指標							回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回
評価指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																																					
アウトカム指標																																											
受診率	95%	95%	95%	95%	95%	95%																																					
アウトプット指標																																											
回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回																																					
<p><b>実施計画</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>従来通り実施予定</td> <td>従来通り実施予定</td> <td>従来通り実施予定</td> </tr> <tr> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> </tr> <tr> <td>従来通り実施予定</td> <td>従来通り実施予定</td> <td>従来通り実施予定</td> </tr> </tbody> </table>		R6年度	R7年度	R8年度	従来通り実施予定	従来通り実施予定	従来通り実施予定	R9年度	R10年度	R11年度	従来通り実施予定	従来通り実施予定	従来通り実施予定																														
R6年度	R7年度	R8年度																																									
従来通り実施予定	従来通り実施予定	従来通り実施予定																																									
R9年度	R10年度	R11年度																																									
従来通り実施予定	従来通り実施予定	従来通り実施予定																																									

2 事業名 特定健診（被扶養者）

対応する健康課題番号 No.2



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被扶養者
方法	予約代行機関のシステムか、集合健診を選択
体制	集合健診の場合、健保組合から受診券を送付

事業目標

疾病予防		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
評価指標	アウトカム指標						
	受診率	60%	60%	60%	60%	60%	60%
アウトプット指標	回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
従来通り実施予定	従来通り実施予定	従来通り実施予定
R9年度	R10年度	R11年度
従来通り実施予定	従来通り実施予定	従来通り実施予定

3 事業名 特定保健指導

対応する健康課題番号 No.3



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：基準該当者
方法	委託業者が事業所に保健師を派遣
体制	宮城連合会の補助事業を活用

事業目標

疾病予防		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
評価指標	アウトカム指標						
	実施率	30%	30%	30%	30%	30%	30%
アウトプット指標	回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
従来通り実施予定	従来通り実施予定	従来通り実施予定
R9年度	R10年度	R11年度
従来通り実施予定	従来通り実施予定	従来通り実施予定

達成しようとする目標／特定健康診査等の対象者数								
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
特定健康診査実施率	計画値 ※1	全体	990 / 1,100 = 90.0 %	990 / 1,100 = 90.0 %	990 / 1,100 = 90.0 %	990 / 1,100 = 90.0 %	990 / 1,100 = 90.0 %	
		被保険者	722 / 760 = 95.0 %	722 / 760 = 95.0 %	722 / 760 = 95.0 %	722 / 760 = 95.0 %	722 / 760 = 95.0 %	722 / 760 = 95.0 %
		被扶養者 ※3	204 / 340 = 60.0 %	204 / 340 = 60.0 %	204 / 340 = 60.0 %	204 / 340 = 60.0 %	204 / 340 = 60.0 %	204 / 340 = 60.0 %
	実績値 ※1	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被保険者	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被扶養者 ※3	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
特定保健指導実施率	計画値 ※2	全体	60 / 200 = 30.0 %	60 / 200 = 30.0 %	60 / 200 = 30.0 %	60 / 200 = 30.0 %	60 / 200 = 30.0 %	
		動機付け支援	30 / 100 = 30.0 %	30 / 100 = 30.0 %	30 / 100 = 30.0 %	30 / 100 = 30.0 %	30 / 100 = 30.0 %	30 / 100 = 30.0 %
		積極的支援	30 / 100 = 30.0 %	30 / 100 = 30.0 %	30 / 100 = 30.0 %	30 / 100 = 30.0 %	30 / 100 = 30.0 %	30 / 100 = 30.0 %
	実績値 ※2	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		動機付け支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		積極的支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %

※1) 特定健康診査の(実施者数) / (対象者数)

※2) 特定保健指導の(実施者数) / (対象者数)

※3) 特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。

#### 目標に対する考え方(任意)

目標を達成できるよう、加入事業所の協力を得ながら進める。

#### 特定健康診査等の実施方法(任意)

健診については、未予約者、未受診者を抽出して、事業所の協力を得て複数回の受診勧奨を行う。  
保健指導については、オンラインでの指導も選択できるようにしながら、事業所内実施を継続する。

#### 個人情報の保護

当健保組合で定める個人情報保護に関する規定を順守する。組合員には内容をホームページを通して公開する。  
データ保護管理者、オペレータを明確にし、データ管理に留意する。  
外部委託の場合は、委託先との契約書に守秘義務や目的外使用の禁止等を明記する。

#### 特定健康診査等実施計画の公表・周知

健保組合ホームページ上に公開する。

#### その他(特定健康診査等実施計画の評価及び見直しの内容等)

毎年実績を集計した上で、実績数字の向上に必要な対応を検討していく。